

桑部小学校のとりくみ ～桑名市 ICT 教育戦略2020を受けて～

令和3年4月22日(木)10:00～
桑名市立桑部小学校

1 授業改善 「主体的・対話的な学びのある授業における ICT 活用の可能性」

(1) 一人一台 iPad の活用

①導入までの経緯

H30 iPad トライアル校 (iPad 10台→40台)

R1 市内導入前研修会

OJT (ロイロ研修, モラル研修, 授業研究)

R2 市内 ICT 教育推進プロジェクトチーム参加
明正ブロック小中連携事業

・ ICT を活用した授業の公開

・ ICT モラル学習 5・6年生対象「ネットやスマホをうまく使おう」
小中代表者による学習会

・ 11月17日一人一台 iPad 導入 18日

②個別最適化

個に応じた課題 →基礎学力の向上 →対話的・創造的な活動時間の確保

③授業構想の広がり

ロイロノートの活用

・ 主体的な活動 (意欲, 集中力)

・ 対話的な活動 (発言, 相談 対教師から子ども同士へ)

④評価活動の効率化 →教材研究や児童とふれあう時間

(2) OJT

①校内研修

・ 全ての教師 (非常勤・少人数指導) が活用

・ 同僚性 (若手から学ぶ機会も・・・)

②明正中学校ブロック小中一貫教育

・ 小中接続

・ 教職員研修

(3) 様々な教育活動への活用

①ZOOM を活用した集会活動

②ビブリオバトルにも iPad

②「くわべの宝」プロジェクト構想

2 教員の働き方改革 「効率的な校務の遂行に向けて」

(1) 統合型校務支援システム C4th の活用

① 掲示板の活用

- ・連絡、情報共有、リマインド →効率化・いつでも確認
- ・朝の打ち合わせ →回数・時間減、ポイントを絞った共有
- ・アンケート機能 →簡単に意向確認

② 他校（市教委）との連絡 市内小中学校専用回線 →効率的、安心感

③ 出退勤管理 →在校時間の客観的把握、自分の働き方を見直すきっかけに

④ 出席簿 市内統一書式 →連絡表・指導要録への反映

⑤ 連絡表 市内統一書式 →電子処理、外字運用なし

⑥ 指導要録 →電子処理、データ保存・紙媒体保存なし

⑦ 年間計画、いいとこみつけ →次年度活用に向けて

(2) 校内共有サーバーの活用

① 児童の様子

- ・職員全体で児童を見守るために欠かせない情報を効率よく共有
- ・保存場所、形式を統一
- ・進級時、進学時、懇談会、指導資料として活用

② 入力願フォルダ

- ・行事や取り組みの反省等を入力
- ・担当者のとりまとめ、印刷等、事務処理の軽減

③ 校務文書のデータ蓄積

- ・文書作成の効率化、引継ぎ
- ・データ整理（削除）の工夫

④ 教材データの蓄積

- ・指導案
- ・写真 入学年度別整理

(3) 職員会議の見直し（ペーパーレス）

① 職員会議までの流れ

校内共有「第〇回職員会議」フォルダ内に提案文書入力
校務用 PC に各自データを保存→事前に目を通す→質問等チェック
各自、校務用 PC 端末をもって会議に参加
修正意見等の加筆修正後、再度フォルダにデータ保存

② ペーパーレスによって

準備時間短縮、資料確認・共有・蓄積の効率化、費用削減
大事なことには時間をかける

(4) 市内共有サーバーの活用

① 校長会、中学校ブロック、情報交換等のフォルダの活用

- ・速やかな情報発信、情報共有
- ・事務処理の効率化

3 課題